

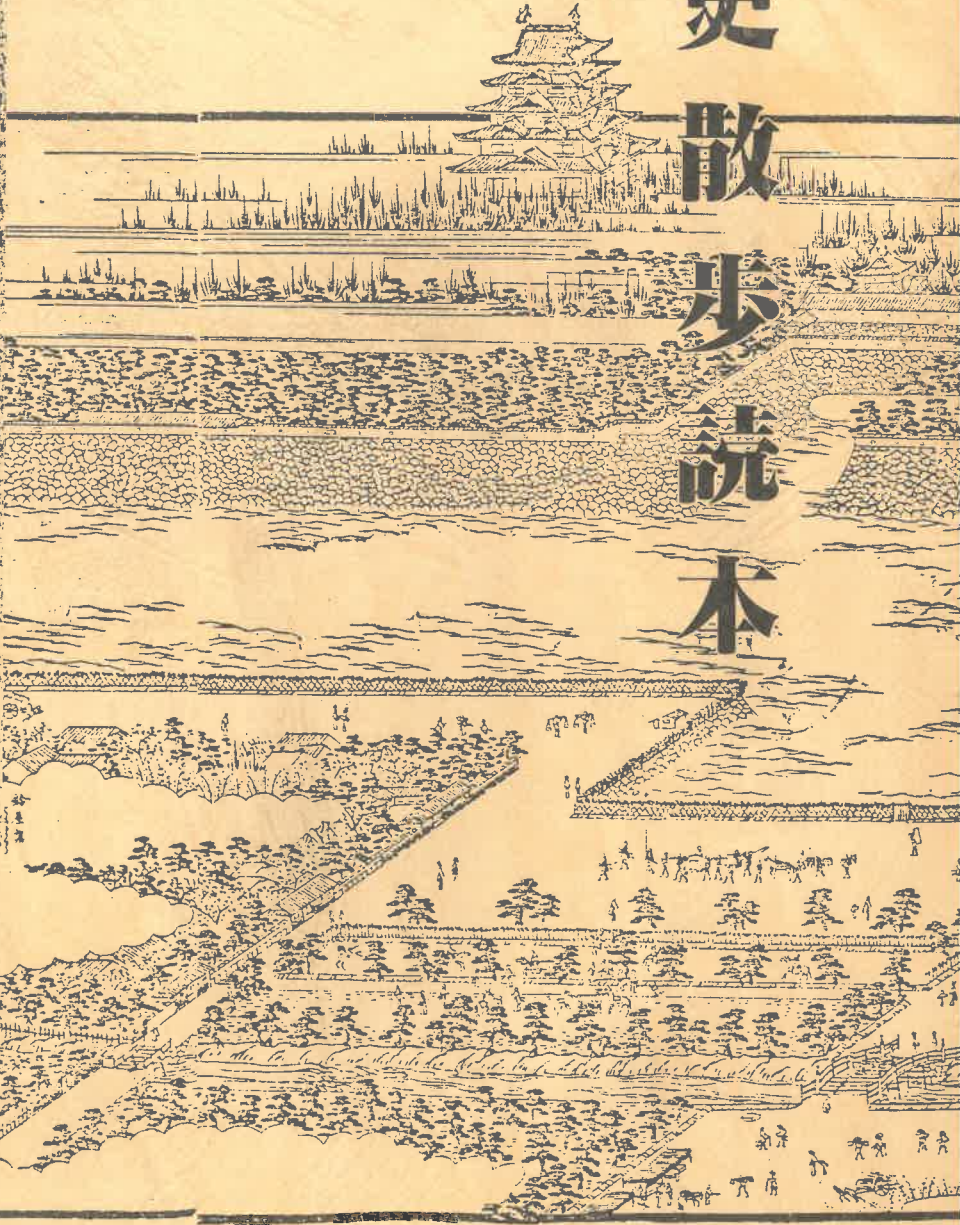
# 歴史散步読本

# 尾陽古城跡記

金

瑞穂高学影雲  
 開主氣中天子  
 疑廻為道空照  
 好意賦乾坤吉  
 實伸宣主

尾陽古城跡記  
 尾陽古城跡記  
 尾陽古城跡記  
 尾陽古城跡記  
 尾陽古城跡記



見本

# 尾陽古戰場記

## 大権現御発向ノ所々

石ヶ瀬	1	大高	3	丸根	5	沓掛	6	横根	7	鳴海	8
小牧	9	羽黒	10	二重掘	11	長久手	15	小幡	18	蟹江	19
下一色	23	下市場	23	重吉	25	岐阜	26				

## 三州ヨリ発向ノ所々

森山	30	品野	31	村木	33	星崎	35	鷺津	36
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

## 信長公御合戦ノ所々

海津	37	稻生	38	浮野	40	岩倉	42	犬山	43	桶峡間	45
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----

## 秀吉公并国衆合戦セリ合ノ所々

岩崎	49	楽田	51	加々野井	53	竹ヶ鼻	54	古渡	55	清須	56
藤嶋	59	大野(海東郡)	60	一宮	61	大野(知多郡)	62				

一、石ヶ瀬

知多郡

大権現(徳川家康)永禄元年(一五五八年)岡崎から尾張の小川へ御出陣。小川は水野下野守の居城である。水野は大権現とは親類の間であつたが、織田信長に属して駿河へは従わなかつた。大権現はこの時駿河の一員であつたので御出陣され、石ヶ瀬で小川の軍勢を迎え撃つた。岡崎衆ではこの時渡辺半蔵が手柄を挙げた、時に十七才。

永禄三年(一五六〇年)岡崎から御出陣。小川の軍勢と敵対する。

岡崎衆鳥居四郎左衛門、木原左近右衛門、矢田作十郎、蜂屋半之丞、大久保七郎右衛門、同次右衛門、高木九助等が槍で戦い手柄を挙げた

永禄四年(一五六一年)岡崎より又御出陣。

岡崎衆石川伯耆守一番槍、本多肥後守、植村庄右衛門、松井左近等が槍で戦つた。

小川衆では高木主水が一番に伯耆守と槍で戦つた。

大府市大府町石ヶ瀬

